

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ★39号

2018年1月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

FAX 048-884-5500

<http://www.lib.city.saitama.jp/>

QRコード



『写真でつくるアートな作品 スクラップブックとミニアルバム』

かたやなぎ りよこ
片柳 頼子 監修 緑書房 2011年

あなたの机の中に眠っている思い出の写真やプリクラをアートに変えませんか？

写真にペーパーや飾り、メッセージなどを付けておしゃれなアルバムに仕上げる、スクラップブック。この本では、そのわかりやすい作り方や個性豊かな作品たちを紹介しています。また、作業の中で綺麗に見せるコツがたくさん載っているので、初心者でも安心。この本を使って工程を一つずつ進めながら、あなただけの素敵な作品を作りましょう！



『日記をつける』

あらかわ ようじ
荒川 洋治 作 岩波書店 2002年

日記といえば、まず思い浮かぶのは子どものときにつけた絵日記や交換日記でしょうか。この本では、そんな身近な日記のことだけでなく、歴史の証言として後世に残る日記や、俳句と日記のユニークな関係、日記がエッセイになる秘密など、日記についてのあれこれを紹介しています。

誰でもつけられる日記ですが、その奥深さや楽しさを知ることができます。読み終わったら、今日から日記をつけてみませんか？



『すぐに役立つ』

366日記念日事典 [第3版]』

かほ けいし
加瀬 清志 作 創元社 2016年



クイズです。世の中には記念日がいっぱい何件あるでしょうか？日本記念日協会によると、2016年4月25日時点でその数なんと1646件！そう、毎日が何かの記念日なのです。この事典では、様々な記念日を成り立ちとともに紹介。最近作られた記念日をも収めたこの事典を開けば、今まで知らなかった記念日との出会いがあるはず。

今日は、明日は、あなたにとって大事な日は、いったい何の記念日になっているのか、話の種に調べてみませんか？

『ヤマネにあえた日』

—小さな国の天然記念物—

にしむら ゆたか
西村 豊 作 光村推古書院 2011年



リスネズミの別名を持つ天然記念物・ニホンヤマネ。森の中で暮らす彼らは10cm前後の大きさで、見つけるのは大変です。そのヤマネを、写真家・西村豊氏は33年も追いかけてきました。西村氏でも年2〜5匹しか出会えないというヤマネを収めたこの写真集。春の陽を浴び溶ける雪の中から目覚めるヤマネや、秋の森で冬眠に備え太ったメタボリックヤマネなど、四季折々に彼らは様子を変えていきます。自然に生きるヤマネの逞しくも愛らしい姿をご堪能ください。

『本日は大安なり』

つじむら みのづき
辻村 深月 作 角川文庫 2014年

1月22日曜日、大安。県下有数の結婚式場「ホテル・アールマティ」では、4組の結婚式が行われようとしていた。しかし、朝からお色直しのカチューシャがなくなったり、ポストンバッグを抱えた怪しい男がうろついたり、わがまま新婦はプランナーを思いつきで振り回す。さらに、新婦の妃美佳は双子の鞠香と入れ替わり、新郎を試す人生一番の賭けに出る。4組の結婚式の行方はいかに…。



『アニバーサリー』

くぼ みずみ
窪 美澄 作 新潮文庫 2015年

75歳になってもマタニティスイミングの指導員を続けている晶子。3月11日、震災が起きたとき、晶子の心に元生徒・真菜の姿が浮かび、焦燥にかられ、彼女の自宅へ向かう。真菜は、忙しく働く両親との時間を持たず、母とは確執を抱えたまま、たった一人で出産を迎えようとしていた。

働くこと、産むこと、育てること、時代とともに変わりゆく女性たちの生きる姿を描く。



第4回ビブリオバトルはぴの陣 が開催されました！



『いなくなれ、群青』

ここの ゆたか
河野 裕 作 新潮文庫 nex 2014年

平成29年7月28日(金)、6人の市内中学生バトルー(参戦者)により、ひとり5分間の、本の魅力みりょくを伝える知的書評合戦・ビブリオバトルが、中央図書館で行われました。今年で4回目となります。

今回のテーマは「**記念**」。

熱戦の結果、バトルー、観戦者の投票により、チャンプ本には『**いなくなれ、群青**』が選ばれました。

魔法が支配するといわれる階段島。主人公の男子高校生・七草は、幼馴染みの由宇との再会から、島の真相にせま迫ろうとします。バトルー曰く、由宇と再会した日が「記念日」になるとのこと。タイトルは、どういう意味なのか、読んで確かめてみてください。読み終わった後、別世界にいたのではという気持ちになります。

そのほかのバトルーの紹介本

『コンビニたそがれ堂』 村山 早紀 作 ポプラ文庫ピュアフル 2010年

『甲子園がくれた命』 中村 計 作 講談社 2011年

『天国への階段』 佐柳 くるみ 作 スターツ出版 2012年

『ひきこもりの弟だった』 葦舟 ナツ 作 メディアワークス文庫 2017年

『翼をもつ少女』 山本 弘 作 東京創元社 2014年

※ビブリオバトルの様子は、図書館ホームページ「10代のページ」に掲載しています。

今号は、「記念」をテーマに本を紹介しました。

あなたにはどんな「記念」がありますか？

次回
予告

はぴ40号(4月発行)のテーマは「勝負」



このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの印刷経費は3円(概算)です。